

議事概要

1 会議の概要

- (1) 会議の名称：神戸三宮駅周辺・臨海地域 都市再生緊急整備協議会
第1回安全確保計画部会
- (2) 開催日時：平成28年12月8日（木）14:30 ～ 15:45
- (3) 開催場所：神戸市役所1号館14階大会議室
- (4) 事務局：神戸市危機管理室
- (5) 公開の可否：公開

2 会議要旨

○開会

- (1) 神戸市危機管理室 鍵本室長あいさつ

○議題

- (1) 部会長の選出

- ・委員互選により、神戸市危機管理室 鍵本室長が選出。

- (2) 都市再生安全確保計画について

- (事務局)

- ・安全確保計画の概要とその検討体制について説明。

- (3) 「都市再生安全確保計画の基礎調査」の中間報告

- (事務局)

- ・基礎調査内容について説明。

- (4) 「三宮駅周辺地域 都市再生安全確保計画」の骨子案について

- (事務局)

- ・骨子案の内容について説明。

- (委員意見)

- ・対象区域として、海溝型の地震の際は津波もしくは浸水といったことを考え、臨海部もしくはウォーターフロントエリアについても検討してはどうか。

- ・帰宅困難者のうち、退避が困難になるであろう、外国人を含めたインバウンドでの来街者、高齢者、子供連れといった色々な対象について、検討してはどうか。

- ・時間帯、季節ごとの対策といったものも加えてはどうか。

- (事務局)

- ・対象区域は、もともと帰宅困難者対策というところを主眼に置いているということで、三ノ宮駅からおおむね1キロ圏ということで設定しているが、この制度

の枠組みとして、都市再生緊急整備地域内に関して施策を定めることによる、例えば優遇策や支援策を通じて、安全なまちを誘導していくというものであるため、今後の作業部会で議論をさせていただけたらと思う。

- ・帰宅困難者の想定については、ユニバーサルデザインやバリアフリーという観点からもいろんな方にとって安全なまちということで、量的なところだけでなく、質的なところやソフト面を入れていけたらということで、引き続き話をさせていただきたい。

- ・災害の想定については、想定上の最大規模という形で入れているが、いろんなケースを想定して、対応していかないといけない。建物が大幅に被害を受けているようなケースもあれば、交通機関が停まっているだけのケースもあつたりと、いろんなシナリオが考えられるため、地域としての対応力を上げていくといったことで取り組みを進めていきたい。

(寺元参事官意見)

- ・帰宅困難者数については、平日14万5,000人とあり、そのうち帰れない方が平日5万8,000人、休日4万1,000人となっている。この比率の全国平均は、大体4割となっており、この資料でも約4割となっているので、大体、全国平均並みといえる。

- ・備蓄については、災害救助法という法律で、都道府県に財政力に応じて確保することが義務づけられており、例外なくほぼ100%以上基金として全ての都道府県で積み立てられている。特に、災害を経験されたようなところ、あるいは災害のリスクが高いところは高く、静岡県では法令の2倍の200%積み立てられている状況がある。

ただ、問題は、物資による備蓄をどこに置いておくかということのチェックがまだ十分にできていないところが多い。必要な場所にあるのかというのは非常に重要で、どこに置いておくのか、どう誘導するのかといったことを検討を進める中で、チェックされたらいいのではないか。

南海トラフの想定では、神戸はそんなに津波が高くなかったと思うが、備蓄の候補地が万が一どうなるのかも、少し詰めておかれると良いのではないか。

- ・神戸、三宮は今も既にそうであるが、海外からのインバウンドのお客さんが増えており、いわゆる携帯とかモバイル端末が非常に効力を発揮しているので、情報提供のような部分もあわせて記述されると良いのではないか。

○その他

(事務局)

- ・今後のスケジュールについて説明。

○閉会